



































名瀬市指定文化財案内

大正「有良殿島神社石祠と鬼比寿像」
指定年月日 昭和五十九年十二月二十日

一、この石祠は奄美諸島における歴史史料のきわめて少ない中であって、薩摩藩時代の委横目（村長格にあたる与人を補佐する地方役人）に関わる金石文を持つ歴史上の貴重な裏付け史料となるものです。
石祠の表裏面にはそれぞれ次のように記されています。

（表面）（表） 代山神社一宇

（裏面）（裏） 享保三年戊戌八月吉日

名瀬間切瀬師々子村住杖横目

佐喜美

一、石祠内に安置された神体の鬼比寿像は、石灰石で造られてあり、保存もよく、有形民俗文化財としての価値も高いといえます。

わたしたちはこれを顕彰し、後世に伝承するため大切に保護、保存しなければなりません。
指定文化財をみだりに損傷した者は、文化庁保護条例によって罰せられます。

昭和六十年一月建立
名瀬市教育委員会















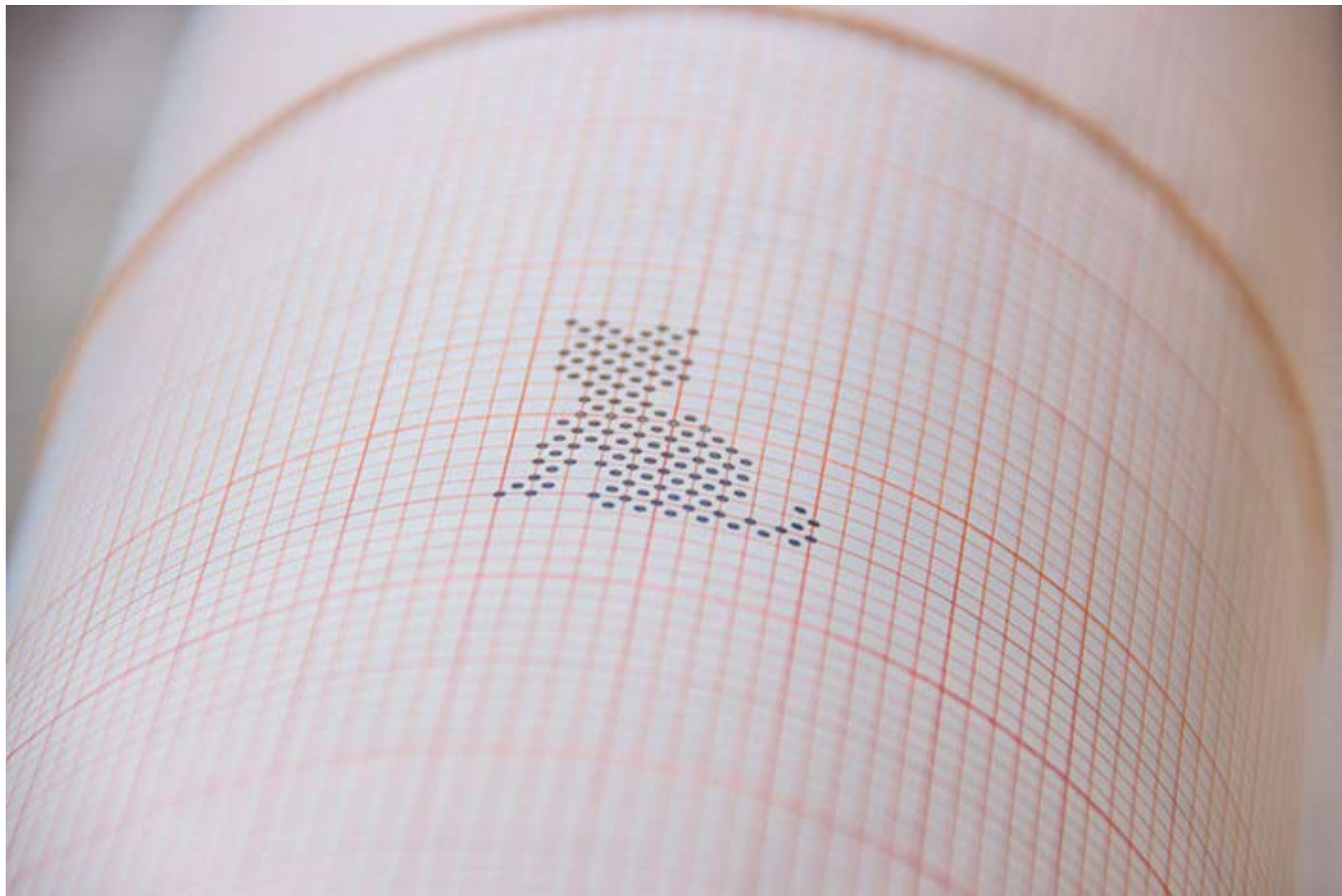


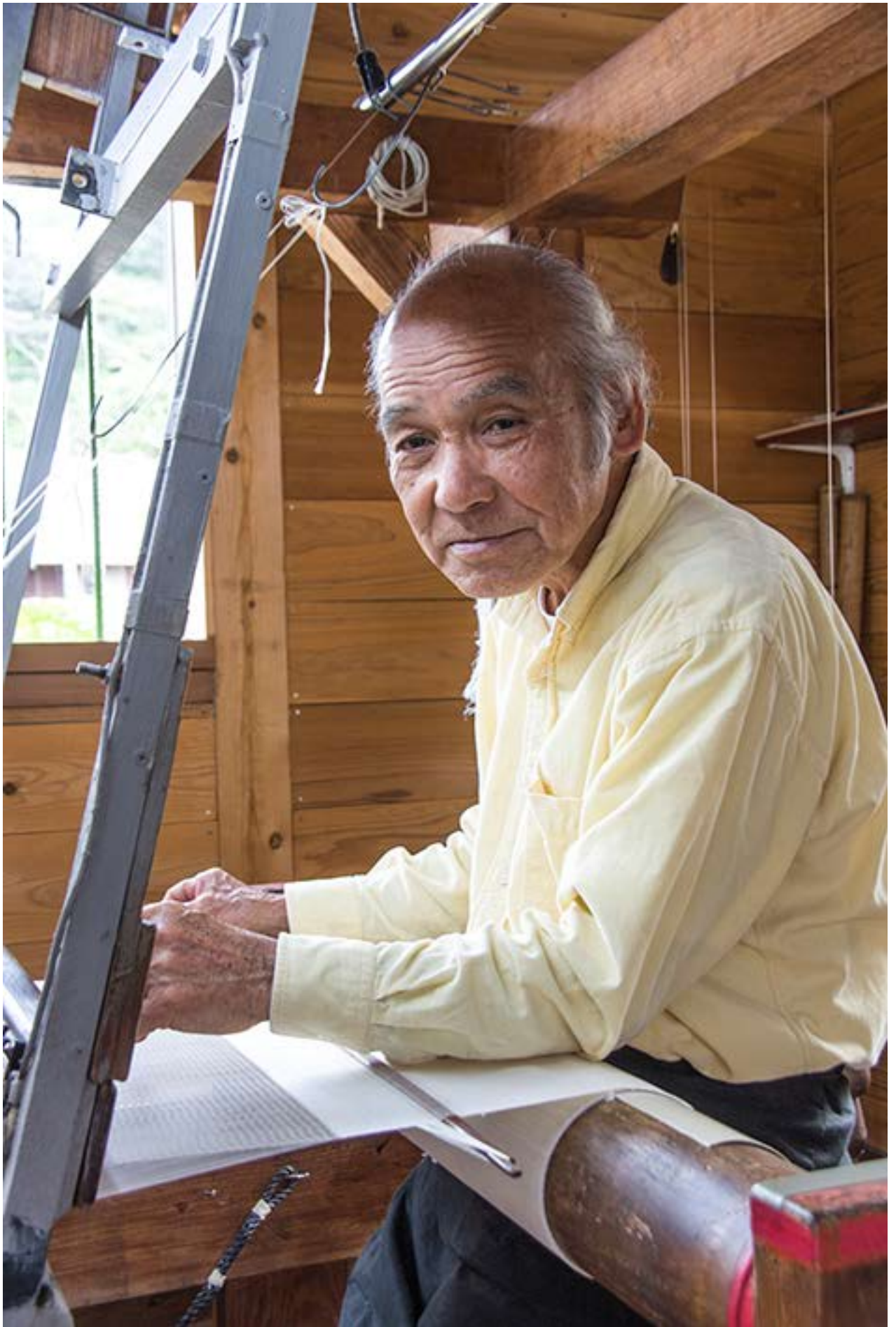


































































疲れた者
重荷を負う者は
だれでもわたしの
もとに来なさい
休ませて
あげよう
(マタイ福音書二三章)
信徒一同





































その約

食べし代は古り

豊の秋

ゆうこ



その約
食べし代は古り
豊の秋
ゆうい



















